

苦前地域マリンビジョン

～くるるん&ふらっと とまえ～

水産物の安定供給
基盤・体制の確保

環境・生態系保全と
グリーン社会の構築

安全・安心な
漁業地域づくり

漁村地域の
総合的な振興

■地域マリンビジョン協議会

【協議会メンバー（上位組織）】

- ・北るもい漁協、JAるもい苦前支所、商工会、観光協会、シダックス大新東ヒューマンサービス（株）、高齢者事業団、苦前町内会、港町内会、プレジャーポート利用者
- ・行政関係者（苦前町、北海道開発局、北海道）

【検討会メンバー（下部組織）】

- ・北るもい漁協、苦前町農協、商工会、観光協会、ふわっと、（株）丸や岡田商店、星野水産、苦前商業高校、苦前町教育委員会、苦前町農林水産課

●基礎データ

- ・地域人口：2,670人（苦前町、R6.11住民基本台帳）
- ・漁業生産量：2,991t（R4北海道水産現勢）
- ・漁業生産額：1,460百万円（R4北海道水産現勢）
- ・漁港：苦前漁港（第3種）
力屋漁港（第1種）

«令和7年2月改定»

地域の将来像

テーマ：持続可能な苦前みなとまちづくり

水産物の安定供給基盤・体制の確保

- ・持続的漁業生産体制の確立
- ・商標登録や地理的表示（GI）等によるブランド化

- ・港内増養殖事業に対応した岸壁・用地の改良等（漁港ストック（静穏域）を活用したナマコ増養殖事業の展開、ウニ・タコ等蓄養事業の展開、ウニ蓄養のための餌料用コンブの養殖、増養殖事業の展開に向けた岸壁・用地の改良など）
- ・多様化する消費者ニーズの対応した漁港環境整備（戦略的な情報発信、マーケットイン型の販売拡大、商標登録やGI登録によるブランド化の推進など）

環境・生態系保全とグリーン社会の構築

- ・漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進

- ・カーボンニュートラルに対応した漁港環境整備（風力・雪冷熱・太陽光熱等再生可能エネルギーの地産地消の実現に向けた取組み強化、港内養殖によるブルーカーボンの拡大など）

安全・安心な漁業地域づくり

- ・災害時における水産流通機能の維持

漁村地域の総合的な振興

- ・多様な連携による地域振興
- ・地域振興を担う人づくり

- ・海業振興に向けた漁港環境整備（水産物のPR・消費拡大、漁業と観光の連携、交流人口の創出・拡大、地域情報の発信強化など）

- ・漁港施設用地や水域を活用した漁港環境整備（漁業就業者フェアへの参画、漁業後継者・新規漁業就業者に対する助成、地域の子供たちのための水産学習やイベント開催、地元の高校と連携した新商品の開発など）

地域全体

現状

- ・町全体の人口が減少
- ・漁業者の減少と高齢化が進行
- ・漁業生産量・生産額が微増傾向
- ・風力発電や雪冷熱利用への先進的取組みが進行
- ・蓄養事業やブルーカーボンへの取組みが活発化
- ・道の駅、未来港公園、ホワイトビーチ、親水防波堤が近接

課題

- ・海業を活かした働く場の創出
- ・高齢漁業者のリタイア年齢の向上
- ・蓄養事業に対する技術開発、採算性の向上
- ・漁港のストックを活用した養殖・蓄養事業の推進
- ・苦前町ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた取組
- ・地域資源を活かした海業の推進

【位置図】

苦前漁港(3)



第3種 苦前漁港

地域資源（特徴）



＜ホタテ陸揚げ状況＞



＜町営風力発電とホワイトビーチ＞



＜エビ養殖オーナーin苦前＞



＜ナマコ増養殖実証試験＞



＜ウニ・タコ蓄養実証試験＞



＜コンブ養殖実証試験＞



【苦前漁港・力屋漁港】



とまえ温泉ふわっと直売所・レストラン



未来港公園 キャンプ・イベント



静穏域の活用



ICTブイによる水質管理



コンブ養殖試験（ブルーカーボン）



ナマコ養殖試験

ウニ蓄養試験

タコ蓄養試験